

はるひ野にお住まいのみなさまへ

「プラスチックと化学物質について」を副題としたシンポジウムが開催されます。

来る7月28日(土)に多摩市主催のシンポジウムが開催されます。多摩市は先日の4月14日の麻生市民館を最後に大掛かりな説明会は今後は開催しないと宣言しています。しかし、エコプラザ対策部会が説明責任を追及し続けてきた結果が今回のシンポジウムにつながりました。対策部会の努力のひとつが実ったといえます。この機会を逃がす手はありません。

化学物質のリスクを考える絶好の機会となります。

先日、エコプラザ対策部会のこの間の活動について町内会回覧でお知らせしました。残念ながら多摩市議会への陳情は不採択でしたが、その決議をはかる議会で不採択に票を入れた議員の発言は、廃プラスチック圧縮施設の稼働しか考えていないものであったと対策部会は受け止めています。しかし今回の専門家の面々であれば、多摩市職員が説明できなかった化学物質のリスクについてははっきりと話してくれると考えています。

【重要】

エコプラザ対策部会からのお知らせ

多摩市主催のシンポジウムが開催されます

7月28日(土) 14:00から やまばとホール(多摩市役所隣り)にて
はるひ野町内会エコプラザ対策部会

専門家の意見のやりとりを聞いて参考に。

今回壇上に登場する方々は、環境リスクや化学物質の分野のプロフェッショナルです。2月と4月の説明会では、多摩市職員の内容を伴わない説明にいきどおりを感じることもありましたが、今回はようやく落ち着いて話を聞く機会になります。テレビで「解明されていない化学物質の検証をすべき」と話された影本先生、関西の北河内での廃プラ圧縮施設の安全性に疑問符を投げかけた柳沢先生の話を一っしょに聞きましょう。

シンポジウムを次なる取り組みのステップに!

副題にプラスチックのことばを入れることを強く提案したのは対策部会です。それを受け止めた多摩市は以前とは多少態度を変え「住民の声を聞く」姿勢を見せています。しかしそれは、この施設を稼働できると思っているとしか考えられない余裕のある態度です。その自信をくつがえせるかもしれない専門家のやりとりが予想されます。現在も取り組んでいる川崎市への陳情、そして再度多摩市に向かうため、行動しましょう。

★シンポジウム当日(7/28)の午前中は町内会の地域清掃です。対策部会からの説明もあります。

エコプラザ多摩における廃プラスチック圧縮で排出される化学物質のリスクを考える